

みなさん、こんにちは。私は Sebastian Steinsbø と申します。オスロ大学の日本語の一年生です。今日は日本語とノルウェー語がどのくらいちがうか、ということをお話したいと思います。私は日本語を勉強するのが大好きです。でも日本語とノルウェー語にはたくさんちがいがあります。だからノルウェー人が日本語を^{なら}、習うのはとてもむずかしいです。今日はその^{りゆう}、理由について考えてみようと思います。

まず一番むずかしいのは日本語とノルウェー語の^{ごじゆん}、語順がちがうことでしょう。ノルウェー語は^{しゆご}、主語が^{さいしよ}、最初にきて、そのあとに^{どうし}、動詞、そしてさいごに^{もくてきご}、目的語がきます。でも日本語では動詞がいつも最後にきます。はじめはこれがとてもむずかしいと思いました。ほかにむずかしかったのは"は"や"を"などの^{じょし}、助詞です。ノルウェー語には助詞がありません。語順がそのかわりをします。でも実は日本語の助詞は文を理解するのにとてもべんりです。

ほかにおもしろいちがいは、日本語のたんごはノルウェー語とぜんぜんちがうことです。英語の単語はノルウェー語の単語とよくにています。たとえば"brød"と"bread"や"katt"と"cat"とかです。だから英語の単語を覚えるのはぜんぜんむずかしくありませんでした。でも、日本語の単語は英語やノルウェー語の単語とぜんぜんちがいます。だから覚えるのに時間がかかります。

また、日本語とノルウェー語では書きことばもぜんぜんちがいます。ノルウェー語ではアルファベットを使います。でも日本語にはひらがな・かたかながあります。さらに漢字もたくさん^{おぼ}、覚えなくてははいけません。アルファベットは音だけですが、漢字には意味があります。そして漢字をくみあわせたら、ほかの意味を表すこともできます。たとえば「木」という漢字は a tree の意味ですが「木」が二つの「^{はやし}、林」は a small wood です。「木」が三つの^{もり}「^{もり}、森」は a forest になるからです。私はこれがとても楽しいと思います。

このように、日本語はむずかしいですが、とてもおもしろいです。大学では毎日新しい^{たんご}、単語や^{ぶんぽう}、文法を習います。たくさんすぎて^{たいへん}、大変になる時もあります。^{たんご}、単語

をおぼえるのがつまらない時もあります。でもがんばれば、だんだんとおもしろくなると思います。だから私はこれからもいっしょうけんめい日本語の勉強をつづけていこうと思います。

ごせいちょうありがとうございました。